

4. 精神障害者のスポーツ活動と、 地域への理解を深める活動の支援。

グループ名 八王子セブンクラブボランティア会
代表者 鈴木 功一

①活動の目的

思春期や成人してから発症する事の多い精神病（統合失調症やうつ病など）を患っている精神障害者が、社会復帰をする事を目的に当事者が主体となって活動するための補助的な支援を行なっています。当事者が主体的に活動する事で、自信や意欲を取り戻し、就労などの社会復帰に大きくつながっていく効果があるため、側面的に支援しその効果を最大限に引き出せる事を目指しています。病院やデイケアからも、このような取り組みは注目されています。

②活動概要

病院やクリニックで薬を処方され服薬し、社会復帰のトレーニングを模索している精神障害者が、地域と接点を持つ機会はとても少なく、運動する機会も気軽に参加できる場所もなかなかありません。病院のデイケアや作業所に限らず、地域の人と一緒に「仲間作り」や「体力作り」を行なえる場を作ろうと、当事者とボランティアと一緒に「八王子セブンクラブ」を結成しました。

病院のデイケアや作業所、授産施設など、精神障害者の社会復帰施設は約300箇所ありますが、その中でもスポーツ活動を行なっている施設は、100箇所程度です。その多くはレクリエーションとしてのスポーツ活動がほとんどで、競技としてのスポーツ活動を取り入れているチームは東京都では数チームしかありません。その中でも当事者とボランティアだけで自主的に取り組んでいるチームは八王子セブンクラブが唯一のチームです。

精神障害者が、自主的にスポーツを行なう事で、精神障害者の多くが苦手とする継続する力や仲間作りを学び、また身体を動かすことによって健康、体力の維持増進ができます。スポーツの楽しさを知り、閉じこもりがちな傾向から前向きな生活へと個人が意欲的に変化し成長していく事が出来ます。

全国障害者スポーツ大会を目指し、競技としてのスポーツ活動を行なっていく事で、障害者が自信を取り戻す事を目的に支援をしています。そして社会復帰へつながっていった当事者も数多くいます。

ボランティア活動としては、毎週の活動日には、競技スポーツとして大会へ参加する事を
目指して、技術向上のための練習指導を行なっています。

練習時にはボール（ゴムボールのため消耗しやすい）やカゴなどの備品があるととても効
率的に練習が出来ます。

毎週2回行なわれる練習には、就業後や休日等を使ってボランティアが参加していますが、
練習場所までのバス代や、練習用具を運ぶ車のガソリン代は無償でおこなっていますが、
一部でも補助をしていきたいと思ひます。

活動場所は八王子市の市民センター体育館、八王子市内の小学校体育館で行なっています。
練習はもちろん、年7回行なわれる大会にも同行するための、活動時の保険料、会場までの
交通費の半額をボランティア会として補助していきたいと考えています。

スポーツ大会は、東京都内で年4回、近県での大会は年3回実施されています。中でも、関
東大会は宿泊を伴う大会になります。交通機関や宿泊に極度の不安がある当事者も多く、
ボランティアの付き添いは不可欠で必ず同行をしています。

関東大会は全国障害者スポーツ大会（障害者国体）への出場をかけた大会で、東京都代表
として「八王子クラブ」は昨年に続いて優勝し、今年度も関東大会への出場が決まりました。
今年度は埼玉県本庄市での大会になるため、同行するボランティアの交通費や宿泊代
の一部だけでも補助できたら大変助かります。

③決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000
支 出	スポーツ活動に使用する物品	
	バレーボールアンテナセット	9,345
	ラインズマンフラッグ	6,090
	ボール	16,000
	ボールカゴ	21,000
	ボランティア損害賠償保険	20,000
	活動日の交通費（月500円×7名×12ヶ月）	42,000
	大会時の交通費（片道1000円×5名×7回）	35,000
	関東地区大会交通費（片道3740円×5名）	18,700
合計		168,135